

# 島根県緩和ケア委託事業

出雲圏域における在宅での医療用麻薬普及調査業務

# 本日の内容

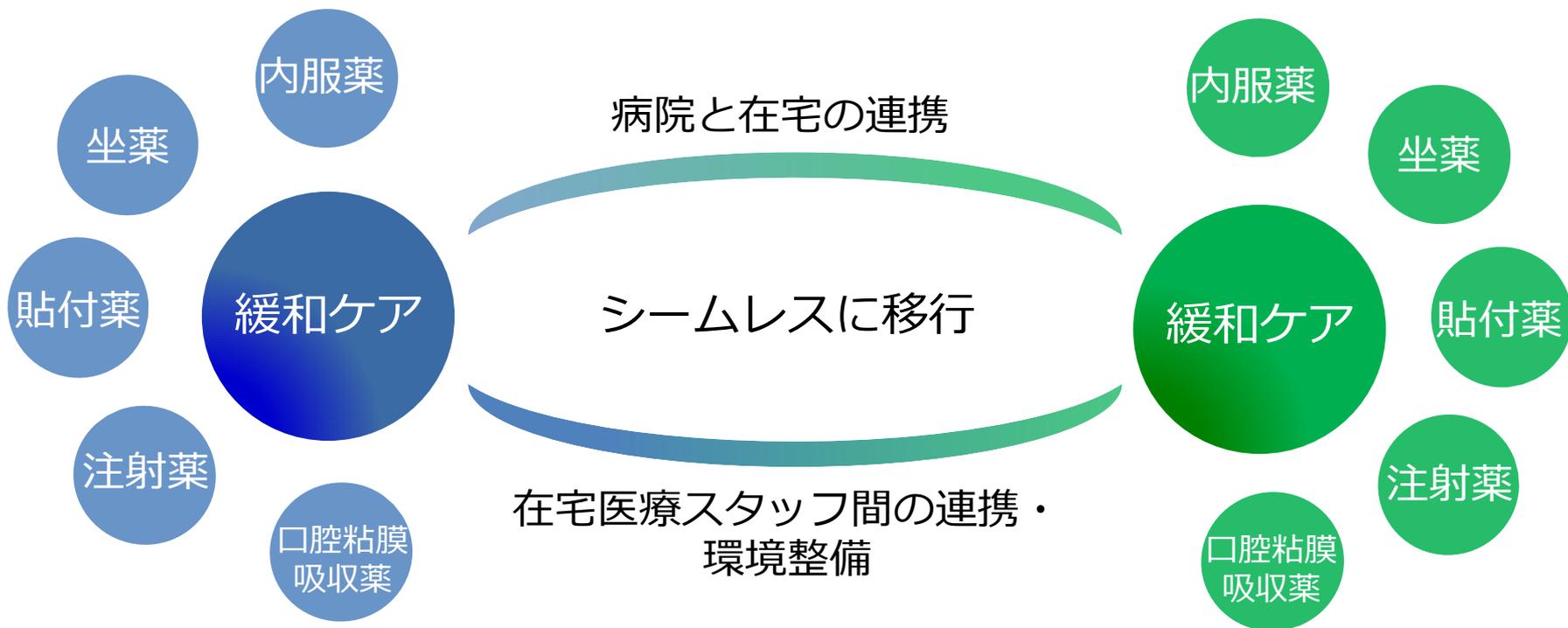
1. 在宅PCAについて
2. 事業の紹介
3. 27年度活動のご報告

# 出雲モデルの定義

医療用麻薬を含む薬物療法が病院から在宅へ  
シームレスに移行できる運用モデル

# 病院医療

# 在宅医療



在宅でも病院と同等の薬物療法を運用するモデル

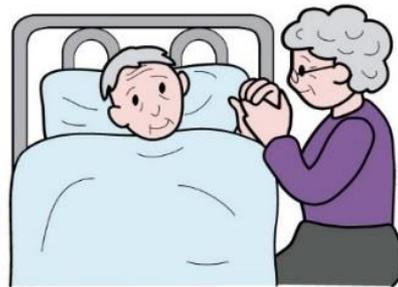
# 大容量PCAポンプ運用時の連携・コスト・契約 (出雲での運用例)

医療用麻薬を専用輸液セット  
に充填し患者宅訪問



保険薬局

注射指示



PCAポンプを  
必要とする患者

在宅医

ポンプ加算  
1250点

レンタル料支払

設置指示

設置・引取  
機器交換



ポンプ代理店

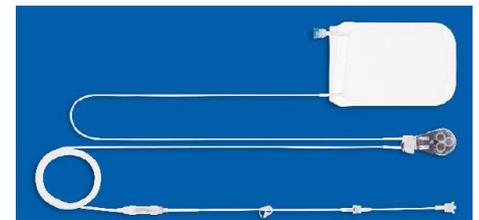
メンテナンス  
リース料

購入  
リース

ポンプメーカー

# i-Fusor<sup>TM</sup> Plus 携帯型精密輸液ポンプ アイフューザープラス

- 輸液精度： ±5%
  - 適応部位： 静脈・皮下・硬膜外など
  - 消耗品：専用輸液セット  
(150mL・300mLノブグー体型)
  - 持続注入速度：0～30mL/h(0.1mLステップ)
  - PCA投与量：0.1～6.0mL(0.1mLステップ)
  - ロックアウトタイム：5～240分
  - PCA履歴確認：画面上で72時間分もしくは99件のボーラス詳細履歴表示
- 寸法：149(幅)×79(高さ)×49(奥行)mm  
420g



## メリット

- ・投与履歴が見やすい
- ・大容量に対応

## デメリット

- ・大きさ、重さ
- ・コスト

# 大容量PCAポンプによる在宅PCA運用実績

- 2014年度22名 2015年度19名
- ポンプ2台同時使用；10回 3台同時使用；2回
- 平均使用期間；8.5日／人
- 平均消耗品使用数；1.8個／人
- 在宅看取り率；80.5%

(2015年3月28日現在)

# 本日の内容

1. 在宅PCAについて

2. 事業の紹介

3. 27年度活動のご報告

# 目 的

- P C Aポンプを利用した質の高い疼痛管理の推進と検証
- 在宅での医療用麻薬普及の評価

# 内 容

- 研修会開催による在宅P C Aの普及活動
- 医療用麻薬普及調査業務  
在宅で医療用麻薬を使用する患者の評価・感想の集約  
(P C Aポンプを使用する患者の場合には消耗品の  
コストは調査の一環として負担)

在宅 P C A ポンプ研修会について

# 在宅PCAポンプ

## (患者自己管理鎮痛法)研修会

～これがあれば、最期まで過ごせる！明日から使えるPCA  
在宅緩和医療の充実のために～

日時：2015年11月7日(土) 14時～16時  
場所：島根県立中央病院 会議室2  
内容：



### 第1部 講義

講師：

島根県立中央病院 総合診療科医長 今田敏宏先生

「PCAポンプとは、医療用麻薬導入メニュー、医療用麻薬換算表」

ファーマシー薬局 薬剤師 熊谷岳文先生

「薬剤師連携の実際と活動状況」

### 第2部 グループワーク

PCAポンプの使用方法、注射剤の投与方法、残量確認、薬液交換などの演習。

- PCAポンプを利用して在宅で注射による医療用麻薬をスムーズに安心して使用できるように、実際の連絡担当者（機器レンタル、薬剤師）と一緒に研修します。
- 顔の見える関係づくりと連携体制の構築に役立ちます。
- 単独の参加でも構いませんが、協働する在宅チーム（医師、看護師、薬剤師）で参加すると実効性が高まります。

# アンケート結果

参加者27名（アンケート回収24名）

あなたの職種、または職業をお答えください。

病院医師	6
診療所医師	1
病院看護師	5
訪問看護師	1
病院薬剤師	1
薬局薬剤師	9
その他（保健師）	1

今回の研修会に満足されましたか。

満足	18
まあまあ満足	5
やや不満	0
不満	0
未回答	1

## 満足度の理由

- ・実際にPCAポンプを使ってみる事ができた。
- ・実際に機器に触れる事ができ、大変勉強になった。
- ・細やかに説明していただき、不明な点がわかりやすかったです。
- ・PCAポンプがどんなものか、よくわかりました。
- ・短い時間の中で内容が充実しており、理解も出来てよかったです。
- ・説明と実際のポンプ使用で、今はとっても良く解った気がします。
- ・アイフューザーを実際に手にとって触る事ができたので。
- ・実際に体験する事ができたので
- ・使用方法の最初から勉強でき、また実症例も参考になった。
- ・実際に触って学ぶ事ができ、分かりやすかった。
- ・実物に触れて使い方を理解できました。
- ・PCAの詳しい使用方法、出雲モデルの理解
- ・とても使用方法について分かりやすかったです。
- ・文書や図だけでなく、実物を触れたのは本当に有意義でした。
- ・緩和ケアの会議等を企画し、DrやNSと話す機会があり、PCAポンプは聞いた事あったが、実際どのようなものか分からなかったので演習を通して分かり良かった。
- ・機械操作に十分に慣れなかった。
- ・実際に使ってみないと何ともいえません。
- ・初めてPCAポンプに触りました。
- ・使い方の再確認が出来た。

学びになった研修内容を記入してください。

- ・ PCAポンプの使用法
- ・ PCAポンプを初めて操作する機会を頂き、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ ポンプを実際に触る事ができた。
- ・ PCAポンプの使用法セットアップ～使用まで。
- ・ PCAポンプの実際の使い方。
- ・ 在宅医の在宅での様子を実際に聞く事が出来、とても参考になりました。
- ・ PCAポンプを実際に見て触れる事が出来て良かったです。
- ・ 出雲モデルを知れて良かったです。
- ・ 安心安全でコントロールできるポンプとわかりました。
- ・ PCAポンプの使用法、使用の実際。
- ・ アイフューザーの使い方。
- ・ グループワーク
- ・ PCAポンプの使用法、患者説明
- ・ 機器での投薬編
- ・ PCA使用方法、使用状況
- ・ 地域のPCAポンプ使用までの流れ、使用例。操作方法
- ・ PCAポンプの使用法
- ・ 出雲圏域で勤務した事なかったので在宅の様子が分かり参考になりました。

## 今回の研修会は今後に活かされますか。

活かせる	18
少し活かせる	5
あまり活かさない	0
活かさない	0
未回答	1

### その理由

- ・ 癌ターミナル患者を診る機会もあり、今後、症例によっては使用してみたい。
- ・ こういう医療機器があると頭に入りました。
- ・ 今後PCAを開始する可能性がある。
- ・ 今後、必要になった時に今回の経験があれば取組みやすい。
- ・ 今後定期的に開催して頂く事で色々な職種が勉強出来る。
- ・ 今後、もしかしたらPCAポンプを扱うことがあるかもしれないから。
- ・ 将来的に必要な事だと思う。
- ・ PCAポンプを在宅で使う際に活かされます。
- ・ 県の事業で浜田市へ無菌調剤室を設置、ハード面の準備ができたため
- ・ 直接現場で働かないので、自分が使う事はないが、関係機関や関係者の思いが分かるようになると思うので良かったです。
- ・ 機械にまだ不慣れ
- ・ PCAのメリット・デメリットはよくわかり、選択の際、活かせると思います。機械の操作については訪問看護師の方が分かる事が多いので、あまりさわらないと思いますが、実際に操作出来て良かった。
- ・ 自社にクリーンベンチがないため。
- ・ 使い方が理解できた。

その他、ご意見・ご感想などあればご記入ください。

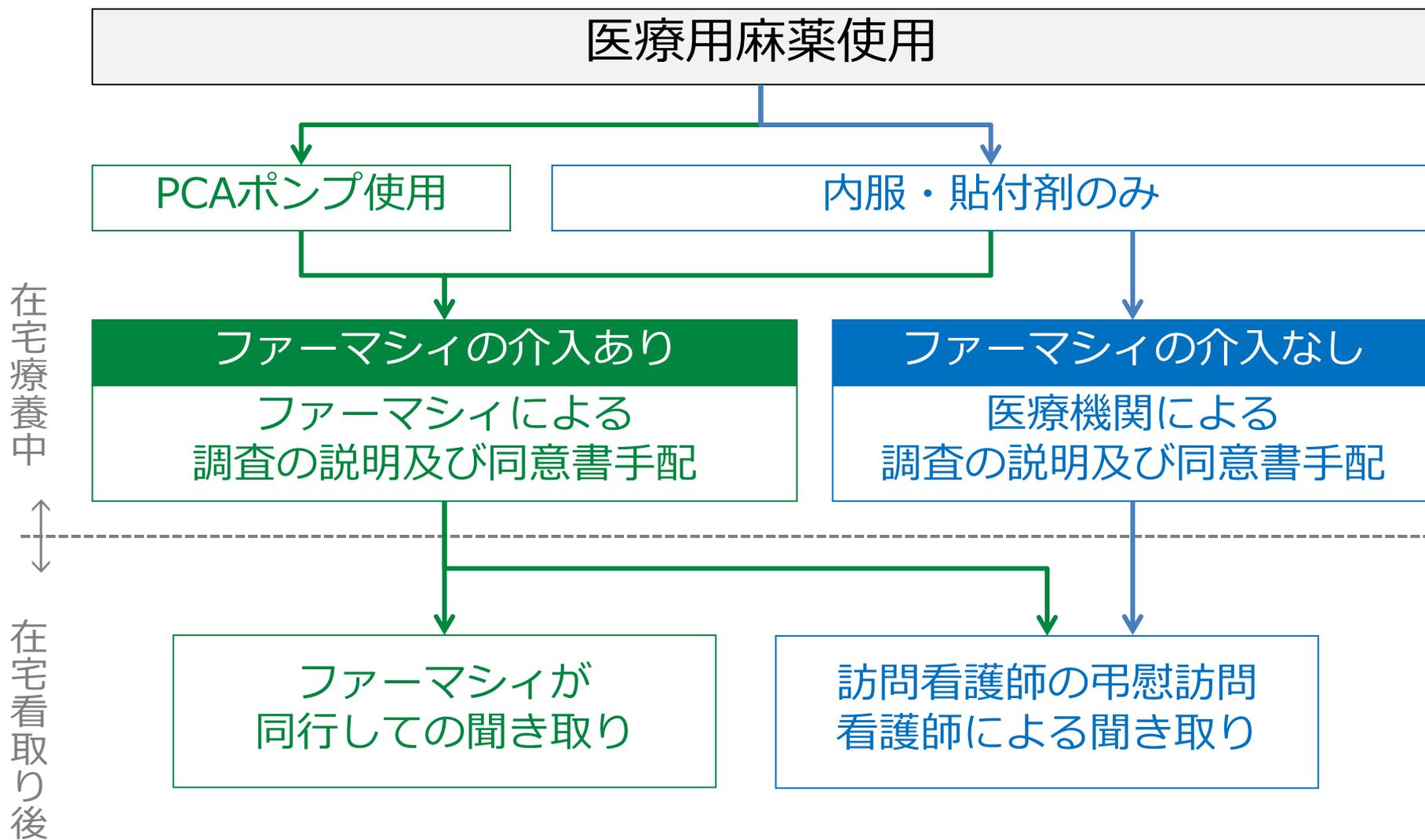
- ・以前、30代の方が末期のがんでお亡くなりになりました。この方法を早く知っていればもう少し長くおられることが出来たと思います。本人さんにしてみれば家の方で過ごしたいと希望があり、その事は実行できたので良かったと思います。
- ・ご親切にありがとうございました。
- ・在宅医療が今後広がっていく上で必要な知識だと思う。今後も研修会等あれば参加していきたい。
- ・連携・マンパワーが必要。
- ・今回とても緩和ケアを勉強する上で勉強になりました。今後の業務においても活かしてまいりたいと思います。
- ・貴重な機会をありがとうございました。具体例にあわせて投与量変更など目的を持った機械操作が出来れば実践的になるかと思いました。
- ・PCAポンプの操作の仕方など実際に出来、具体的で良かったです。

今後、緩和ケアに関する研修、講演会などのご希望があれば、  
そのテーマも含めご記入ください

- ・引き続き多職種の方との連携出来る会があれば参加したいです。
- ・介護力が乏しい家庭の緩和ケアをどうされているのか聞きたいです。
- ・麻薬の効果の少ない痛みに対応するには
- ・同様の医療材料に関する事や症例を観る事が出来る会
- ・症例検討会

# 医療用麻薬の普及調査について

# 在宅における医療用麻薬の普及調査フロー



# 患者用アンケートについて

## □ CES

Care Evaluation Scale  
緩和ケアの構造・プロセスを評価する尺度

## □ GDI

Good Death Inventory  
終末期がん患者のQOLを測定する尺度

## □ 医療用麻薬の評価

使用した患者及び患者ご家族の評価・感想



3つを主として構成